



平成28年5月10日

各 位

上場会社名 株式会社東京精密
 代表者名 代表取締役社長CEO 吉田 均
 (コード番号 7729 東証第一部)
 問合せ責任者 代表取締役CFO 川村 浩一
 (TEL 042-642-1701)

平成28年3月期剰余金の配当と次期以降の株主還元方針に関するお知らせ

当社は、平成28年5月10日開催の取締役会において、平成28年3月31日を基準とする剰余金の配当および平成29年3月期以降の株主還元方針の一部変更を決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、平成28年3月31日を基準とする剰余金の配当については、平成28年6月21日開催予定の第93期定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 平成28年3月期剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成28年2月9日公表)	前期実績 (平成27年3月期)
基準日	平成28年3月31日	同左	平成27年3月31日
1株当たり配当金	33円	26円	33円
配当金の総額	1,365百万円	—	1,363百万円
効力発生日	平成28年6月22日	—	平成27年6月24日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

<理由>

平成28年3月期の期末配当金につきましては、株主還元方針に定めた連結配当性向25%程度に基づき、平成28年2月9日に公表しました配当予想1株当たり26円から7円増配し、33円とさせていただきますことといたしました。

この結果、当期の1株当たり年間配当金は、既の実施しております中間配当金26円と合わせまして、前期に比べ4円増配の59円となる予定です。

(参考)年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	26円	33円	59円
前期実績(平成27年3月期)	22円	33円	55円

2. 来期以降の株主還元方針について

剰余金の配当につきまして、株主様のご期待に応え利益還元を更に充実する観点より、配当の目安とする連結配当性向を「25%程度」から「30%程度」に変更いたします。変更後の株主還元方針は下記をご参照ください。

これによりまして、来期の配当金につきましては、年間配当金1株当たり60円(中間配当30円、期末配当30円)を予定しています。何卒、ご理解のほどお願いいたします。

【株主還元方針】(変更後)

剰余金の配当につきましては、業績に連動した利益配分を実施することを基本に、連結配当性向30%程度を目安として実施していく考えとしております。また、安定的・継続的に配当を行なうよう努めていく観点から、連結利益水準にかかわらず年20円の配当は維持してまいります。但し2期連続赤字になる場合は、見直す可能性があります。

内部留保資金につきましては、景気変動の影響を大きく受ける製品群を有することから財務体質の健全性の維持・強化に十分配慮しつつ、先進技術の研究開発や設備投資、海外展開、情報システムの高度化、新規事業分野の開拓、M&A投資等に有効に活用してまいります。

なお、自己株式の取得につきましては、キャッシュフローや内部留保の状況等を総合的に勘案しつつ、剰余金の配当を補完する機動的な利益還元策と位置づけています。

以上